

令和7年度 第2回

石川中央都市圏地域公共交通協議会

令和8年3月30日

日時:令和8年3月30日(月)10時00分～11時30分

場所:金沢歌劇座 大集会室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議 題

審議事項

議案第1号 地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助)に係る計画別紙の変更(案) ——— P2

議案第2号 令和8年度収支予算(案) P10

報告事項

報告第1号 北陸鉄道線を中心とした広域公共交通ネットワーク再生戦略の進捗報告

①北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進について P14

②北陸鉄道株式会社からの報告 P18

(鉄道線利用状況、整備事業・利便性向上策の報告、新型車両のデザインについて)

4. 閉 会

地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統補助) に係る計画別紙の変更(案)

地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）

○補助対象事業者：一般乗合旅客自動車運送事業者（バス事業者）

○補助対象経費：費用見込額から収益見込額を控除した額

○補助率：国1/2、県1/2以内（※協調補助）

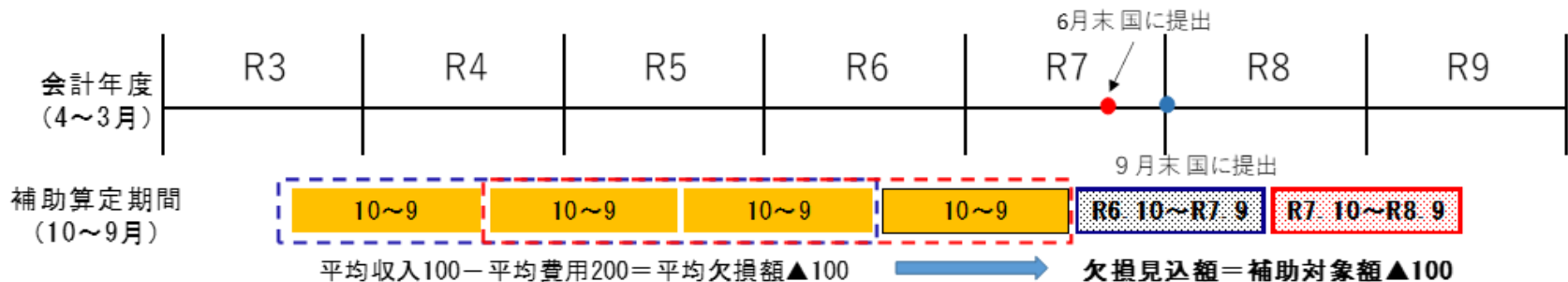
○補助要件

- ・複数市町村にまたがって運行（H13.3.31時点の市町村の状態に応じて決定）
- ・運行回数が1日3往復以上
- ・輸送量が1日15～150人
（利便増進実施計画を策定した能登方面特急は1日3人～150人）
- ・広域行政圏の中心市町村等にアクセス 等

・前年度10月～当該年度9月（算定期間）の欠損見込額に対し補助（国1/2、県協調補助1/2）

・欠損見込額は、前年度6月末までに、その前3年間の算定期間の実績を基に算定し、市町村法定計画と併せて国に提出

※令和6年能登半島地震による影響を鑑み、令和7年度事業に限り、申請期限はR7年9月末まで延長された。



地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統補助）

【補助制度の連動化】

国の制度改正により補助系統の地域の公共交通における位置付けや補助事業活用の必要性等について、地域公共交通計画に記載するほか、計画の本体に位置づけられる事項以外については、**計画の「別紙」として協議のうえ国に提出が必要**

令和8年度(R7.10～R8.9)事業の申請内容(3事業者4系統)

系統名	起点・終点	関係市町	バス事業者
津幡(新道)	本津幡駅・野町駅	金沢市、津幡町	北鉄金沢バス(株)
内灘	金沢駅西口・内灘駅	金沢市、内灘町	//
南砺金沢	井波・金沢駅西口	金沢市、南砺市(富山県)	加越能バス(株)
能登方面特急 (輪島特急)	金沢駅西口・輪島駅前	金沢市、内灘町、かほく市、 志賀町、穴水町、輪島市	北鉄能登バス(株) 北鉄金沢バス(株)

⇒令和7年6月27日 協議会にて合意(書面開催)、国に認定申請

石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」の変更

【変更の内容】

①令和8年4月1日付で北鉄金沢バス(株)が北陸鉄道(株)に吸収合併されることに伴い、国に申請した石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」について、所要の変更を行うもの

⇒ 名義の変更のみ(※国庫補助計画額の変更はなし)

②「事業の目標」について、石川中央都市圏地域公共交通計画(本体)の効果指標である「鉄道・バスの利用者数」の現況値、目標値を引用しているが、利用者数の数値が修正となったため、引用部分を同様に修正するもの

(※本体計画の利用者数の修正は第1回協議会にて報告済)

石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」の変更

【石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」変更案(抜粋)】

別紙

令和8年3月30日

(名称) 石川中央都市圏地域公共交通協議会

項目1 略
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
(1) 事業の目標
<p>超高齢・人口減少社会に対応した広域的な公共交通網の維持・充実のため、令和9年度の目標としては、鉄道・バス利用者をコロナ渦前の水準まで回復させることを前提に、更なる需要創出による利用者数の増加を目指すことから、目標値を157千人/日以上 159千人/日以上とする。</p> <p>鉄道・バスの利用者数 現況値(令和3年度) 108千人/日 110千人/日 目標値(令和9年度) 157千人/日 159千人/日</p> <p>※石川中央都市圏地域公共交通計画78ページ参照 令和8～10年度において地域間幹線系統を維持確保することにより、自動車を運転できない高校生や高齢者の移動手段を確保し、バス以外の移動手段がない地域でも、通学や通院などの日常生活が問題なく送れるようにする。 また、特急バスの収支率についても、路線再編などの取り組みにより、地震前の水準維持を目指し、目標率を72%とする。 現況値(令和5年度) 72% 目標値(令和14年度) 72%</p>
(2) 事業の効果
<p>地域間幹線系統に対して補助を行うことで、自家用車を運転できないような高齢者や学生等の地域住民の通学、通勤、通院、買い物等の日常生活の移動手段が確保される。 また、地域間幹線系統と接続する、コミュニティバスが連携することにより、圏域内の効率的な運行体系の実現が期待できる。</p>
項目3 略

石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」の変更

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者
→ (表1) のとおり
・ 運行事業者決定の経緯 本計画に挙げられている地域間幹線系統は、北鉄金沢バス株式会社北陸鉄道株式会社と北鉄能登バス株式会社、加越能バス株式会社の計3社により運行されている。 これらの事業者は、厳しい経営状況の中、地域住民の移動手段の確保という使命感から、当該バス路線を継続して運行しているところであり、今後引き続き、上記の運行事業者による当該バス路線の継続が必要である。
・ 運行予定期間 R8年度 (R7.10.1~R8.9.30) R9年度 (R8.10.1~R9.9.30) R10年度 (R9.10.1~R10.9.30)
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
→ (表2) のとおり
項目6~8 略
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期 及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
→ 「別紙 生産性向上の取組」 のとおり。
項目10~19 略

石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」の変更

【表1、表2の変更案】

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

都道府県 市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事業に要する 国庫補助額 (千円)	特例措置
石川県 金沢市 内灘町 津幡町 志賀町 穴水町 輪島市 かほく市	北鉄金沢バス 北陸鉄道	津幡(新道)	4,351.0	
	北鉄金沢バス 北陸鉄道	内灘	699.0	
	北鉄金沢バス 北陸鉄道 北鉄能登バス	能登方面特急 (輪島特急)	12,594.0	
	加越能バス	南砺金沢	6,089.0	
合 計			23,733.0	

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額について(概要)

令和8年度

(単位:千円)

運行予定事業者	運行系統名	費用総額 の見込額 ①	経常収益 の見込額 ②	欠損額 ③ ①-②	補助対象 経費 ④	国庫補助金 内定申請額 ⑤ ④×1/2	欠損額から 国庫補助を 除いた額 ③-⑤	欠損額から国庫補助を 除いた額に対する負担額									
								石川県	金沢市	津幡町	内灘町	志賀町	輪島市	穴水町	かほく市	事業者	
北鉄金沢バス 北陸鉄道	津幡(新道)	22,763	14,060	8,703	8,702	4,351.0	4,352.0	4,351.0	0.0	0.0							1
北鉄金沢バス 北陸鉄道	内灘	10,537	9,139	1,398	1,398	699.0	699.0	699.0	0.0	0.0							0
北鉄金沢バス 北陸鉄道 北鉄能登バス	能登方面特急(輪島特急)	235,834	79,190	156,644	25,188	12,594.0	144,050.0	12,594.0	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0			131,456
加越能バス	南砺金沢	65,472	24,519	40,953	12,179	6,089.0	34,864.0	6,089.0	0.0								28,775

※記載している経費等は試算のものであり、今後変動する可能性があります。

石川中央都市圏地域公共交通計画「別紙」の変更

【別紙資料 生産性向上の取組の変更案】

生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

下記の内容は、実現可能性を含め、今後検討を行うものである。

(1) 事業者名：北鉄金沢バス株式会社 **北陸鉄道株式会社**

系統名：津幡（新道）

運行区間：本津幡駅～八幡～野町駅

系統名：内灘

運行区間：内灘駅～県庁前～金沢駅西口

①取組内容

- ・津幡系統：・乗降データから、利便性の高いダイヤ設定及び I R いしかわ鉄道森本駅及び北陸鉄道石川線野町駅における鉄道との接続性を考慮したダイヤを設定する。
- ・内灘系統：・乗降データから、沿線の金沢西高校、金沢市立工業高校への通学や石川県庁、駅西合同庁舎へのアクセスを考慮したダイヤを設定する。
- ・共通：・HP及び金沢MaaSアプリ「のりまっし金沢」を活用したダイヤ周知。
- ・クレジットカードタッチ決済導入の周知。
- ・通勤通学や昼間帯の利用客の利便性を確保するようなダイヤ・系統の見直し。
- ・補助金を活用して運行していることを車内放送でご理解いただくことを通しての利用促進啓発。

②実施主体：北鉄金沢バス(株) **北陸鉄道株式会社**

③効果目標

上記取組を実施することにより収支率の対前年1%以上の増加を目標とする。

④スケジュール

- ・クレジットカードタッチ決済導入の周知。
- ・HP及び金沢MaaSアプリ「のりまっし金沢」を活用したダイヤ周知
- ・補助金を活用して運行していることを車内放送でご理解いただくことを通しての利用促進啓発。

R7.10～R8.9 継続実施

生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

下記の内容は、実現可能性を含め、今後検討を行うものである。

(1) 事業者名：北鉄金沢バス株式会社 **北陸鉄道株式会社**、北鉄能登バス株式会社

系統名：能登方面特急バス（輪島特急）

運行区間：金沢駅西口～のと里山空港～輪島駅前

①取組内容

- ・能登方面特急バス（輪島、珠洲、宇出津）の重複区間（金沢～のと里山空港）を整理・統合し、のと里山空港を拠点とした、ハブ&スポーク型の路線ネットワークに再編することにより、金沢～奥能登地域の便数を震災前と同程度以上に確保した持続可能性と利便性の高い特急バスネットワークに再構築する。
- ・乗降データから、奥能登各地域から、沿線の金沢医科大学病院および石川県立中央病院へのアクセスを考慮したダイヤを設定し、利便性向上を図る。
- ・クレジットカードタッチ決済の導入。
- ・補助金を活用して運行していることを車内放送でご理解いただくことを通しての利用促進啓発。

②実施主体：北鉄金沢バス株式会社 **北陸鉄道株式会社**、北鉄能登バス株式会社

③効果目標

令和14年度の特急バスの収支率72%（震災前令和5年度の維持）を目指す

④スケジュール

- ・ハブ&スポーク型の路線ネットワークの再編（R7.4再編済）
- ・クレジットカードタッチ決済の導入（R7.3末導入済）
- ・補助金を活用して運行していることを車内放送でご理解いただくことを通しての利用促進啓発（R7.10～R8.9）

石川中央都市圏地域公共交通協議会 令和8年度収支予算（案）

令和8年度収支予算（案）

歳入の部

(単位:円)

款	項	目	項目	予算額	備考
1	1	1	負担金	5,380,000	<ul style="list-style-type: none"> ・石川中央都市圏地域公共交通協議会運営費 370,000 <内訳> 金沢市(62%) 231,000 白山市(16%) 59,000 かほく市(5%) 19,000 野々市市(8%) 28,000 津幡町(5%) 20,000 内灘町(4%) 13,000 ・第2次石川中央都市圏地域公共交通計画策定検討調査費 5,010,000 <内訳> 金沢市(62%) 3,128,000 白山市(16%) 795,000 かほく市(5%) 256,000 野々市市(8%) 385,000 津幡町(5%) 265,000 内灘町(4%) 181,000
2	1	1	国庫補助金	5,000,000	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査等事業）
合 計				10,380,000	

令和8年度収支予算（案）

歳出の部

（単位：円）

款	項	目	項 目	予算額	備 考
1	1	1	事業費		
			第2次石川中央都市圏地域公共交通計画策定検討調査	10,010,000	計画策定検討調査委託
			協議会開催費	370,000	<内訳> 委員謝礼 234,000 一般経費 136,000
合 計				10,380,000	

参考：第2次石川中央都市圏地域公共交通計画の策定

現行の計画(令和5年3月策定)が令和9年度で計画期間終了となることから、次期計画の策定検討調査に着手する。(2か年で策定)

【令和8年度】

- ・現行計画のフォローアップ
- ・公共交通に関する住民アンケート調査の実施(簡易パーソントリップ調査)
- ・現状分析、課題の整理
- ・計画骨子(案)の作成

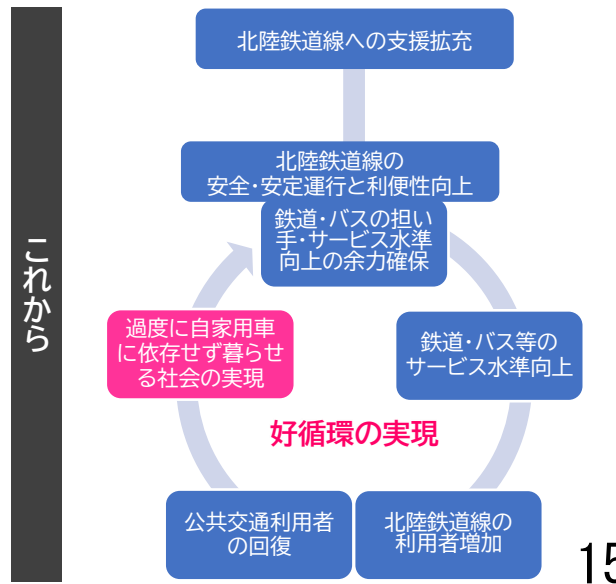
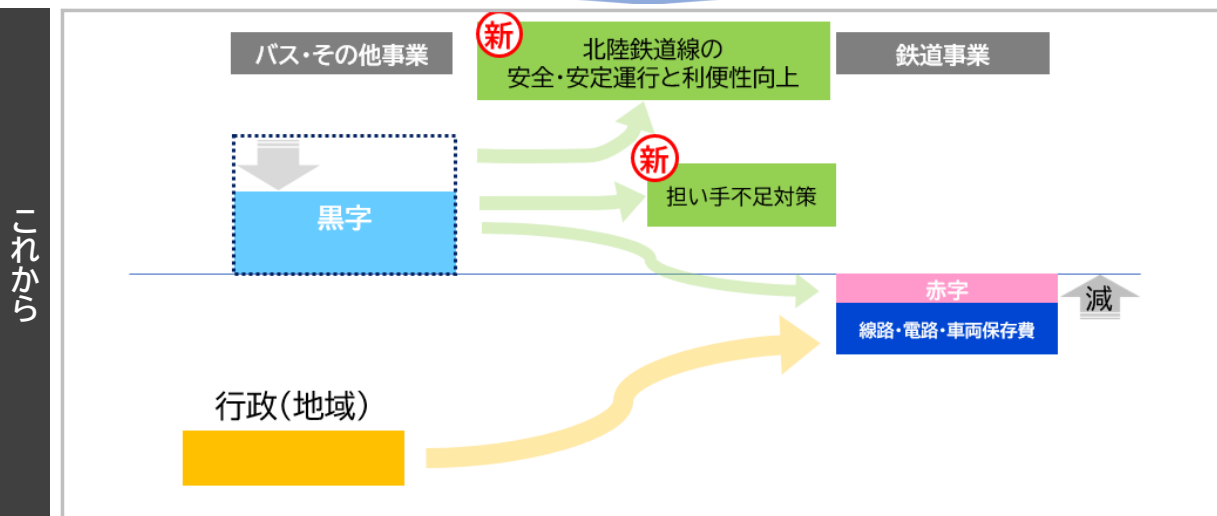
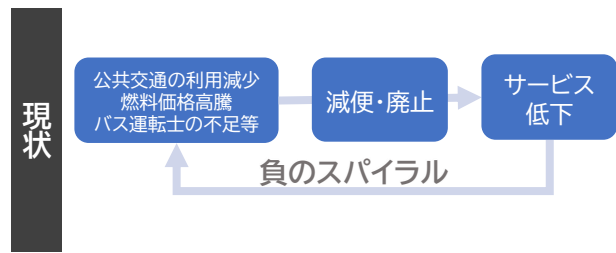
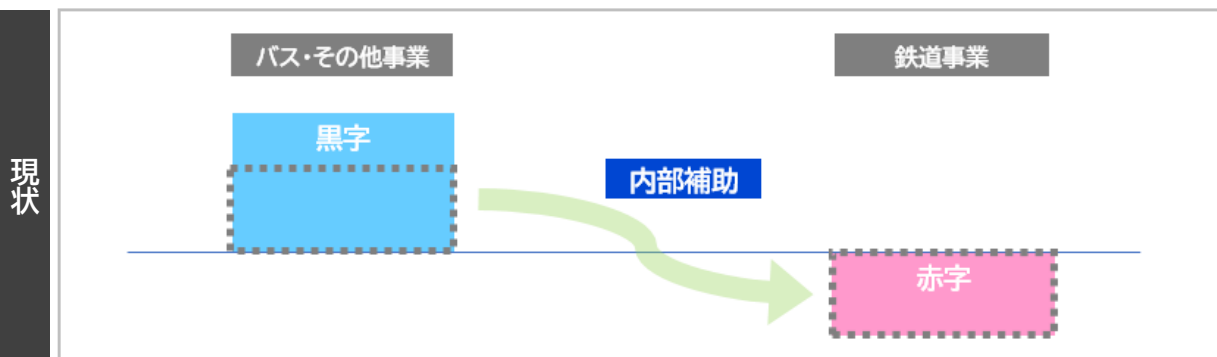
⇒ 令和9年度中に次期計画を策定(計画期間:令和10年度~14年度)

**北陸鉄道線を中心とした
広域公共交通ネットワーク再生戦略**
(①北陸鉄道線鉄道事業再構築実施計画の推進)

北陸鉄道線鉄道再構築実施計画の概要

<基本的な考え方>

- 北陸鉄道線（石川線及び浅野川線）は、沿線住民の日常生活を支えるだけでなく、道路混雑の緩和にも寄与する公共交通であり、**地域にとって今後も必要となる大量輸送機関**であるとの認識のもと、石川県並びに金沢市、白山市、野々市市及び内灘町は、**鉄道の持続可能性の確保のため、鉄道施設等の整備、鉄道施設等の維持管理に要する費用を支援**するとともに、北陸鉄道が主体的に実施する利便性向上策に連携し、鉄道線の利用促進に取り組む。
- 北陸鉄道は、石川県及び沿線市町の支援による生まれる余力と**不断の経営努力の上に利便性向上策に取り組む**こととし、利便性向上策とは別に、**鉄道・バス運転士等の現場職員の担い手不足対策の取組を実施**する。



北陸鉄道線鉄道再構築実施計画の概要

再構築事業実施スキーム

(計画期間: 令和7年4月～令和22年3月)

北陸鉄道(株)

《第一種鉄道事業者》

運 行

維持管理

車両保有

インフラ保有

県及び沿線市町で全額支援

県及び沿線市町で
上限を付して支援

鉄道施設の整備費、
維持管理費のうち
修繕に要する費用

鉄道施設以外の整備費(車
両更新等)・修繕費以外の
維持管理費

石川県

沿線市町3市1町

(金沢市、白山市、野々市市、内灘町)

国

※本再構築事業に連動し、北陸鉄道は鉄道・バスの運転士不足対策等の取組を実施

具体的施策と効果

効果

- みなし上下分離導入による経営の安定化
- ◇鉄道利用者数: 3,141千人/年(R21年度見込)
[R5年度: 2,661千人/年]
- ◇鉄道事業に係る収支率: 0.80(計画期間平均)
[R5年度: 0.71]

具体的な施策

◇は社総交活用予定事業

- 安全・安心な運送サービスの提供
 - ◇石川線への新型車両の導入[39.5億円]
 - ◇軌道、駐車場の改良[15年間: 72.2億円]
そのほか、[維持・修繕15年間: 27.6億円]
- 地域と連携した利用促進・増収施策の推進
 - ◇キャッシュレス対応強化
 - ◇石川線の増便・ダイヤ変更
 - ◇二次交通との接続強化
 - ◇パーク・アンド・ライドの利用促進
 - ◇乗車券のデジタル化、企画乗車券の充実
 - ◇サイクルトレインの充実
 - ◇多言語対応等の外国人旅行者の受入
環境整備
 - ◇プロモーションの展開 等

鉄道施設等の整備事業

項目	令和7年度	令和8年度
重軌条化	石川線井口～道法寺駅間	石川線井口～小柳駅間
道床交換	石川線西泉～野町駅間道床交換	石川線西泉～新西金沢駅間
変電所更新	額住宅前駅 新設(令和8年度へ繰越)	額住宅前駅 新設(令和7年度より繰越)
電車線等更新	日御子～鶴来駅間	—
電柱更新	新西金沢駅構内及び額住宅前駅構内	額住宅前駅構内
踏切無警報対策	四十万踏切、西泉3号踏切	大河端1号踏切
信号保安設備更新	道法寺～鶴来駅間10踏切における列車検知装置の更新	—
停車場整備	自転車用斜路整備 野々市工大前駅(基本構想設計) 新西金沢駅旅客動線改良工事	野々市工大前駅、鶴来駅改修工事
ホーム上屋塗装等	割出駅ホーム上屋取替、照明LED化工事、 西泉駅ホーム上屋改良に伴う待合室撤去工事	西泉駅ホーム上屋取替、ホーム待合室
内灘検車区改修	洗車機能向上に向けた測量、詳細設計実施	洗車機能向上に向けた排水設備整備
大野川橋梁補修	橋桁、橋脚健全性調査及びモニタリング装置設置工事	橋桁、橋脚補強工事
キャッシュレス決済	キャッシュレス(タッチ)決済システム導入	—
車両更新	—	石川線新造車両設計(令和9年度以降導入予定)
除雪車	—	石川線除雪車両更新、浅野川線軌陸除雪車導入

**北陸鉄道線を中心とした
広域公共交通ネットワーク再生戦略**
(②北陸鉄道株式会社からの報告)

北陸鉄道の近況について

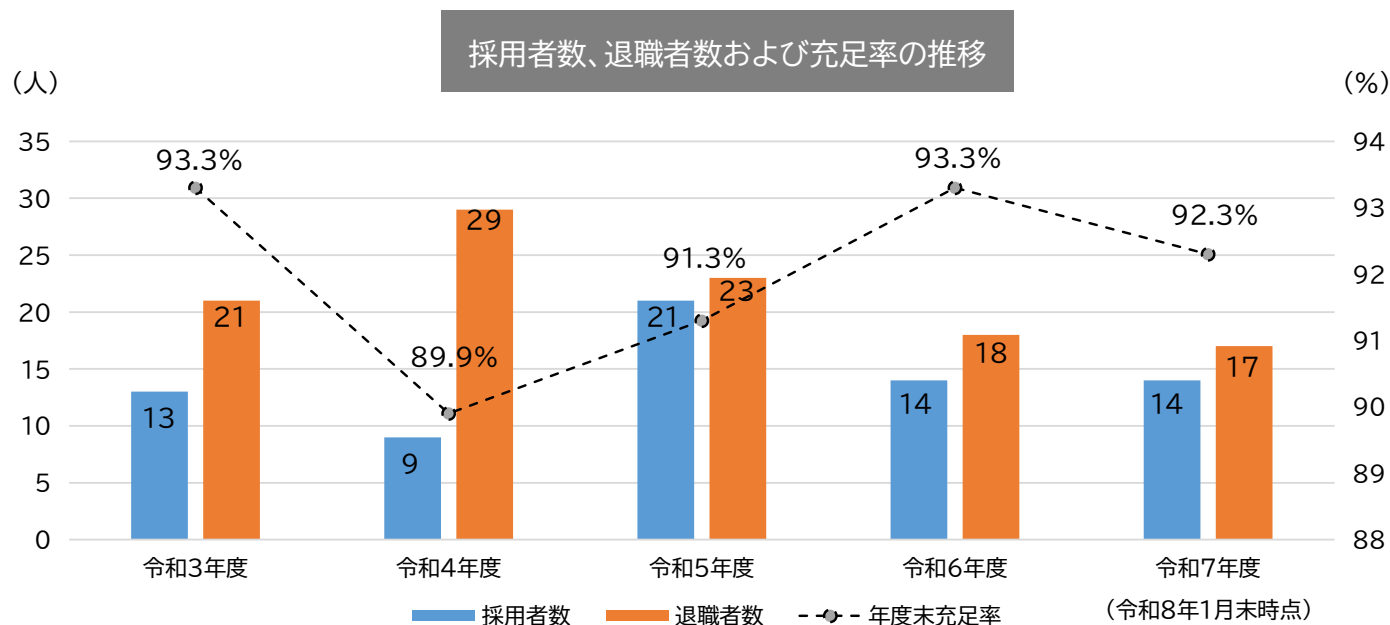
令和8年3月30日
北陸鉄道株式会社

目次

- 1 バス運転士の確保について
- 2 「はくさんジオジャーニー」キャンペーンについて
- 3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について
- 4 石川線新造車両デザイン案について

1 バス運転士の確保について

充足率92.3%(令和8年1月末時点)



(1) バス運転士採用活動の強化

会社説明会／大型バス運転体験会／企業ガイダンス／説明会／転職フェア／ラジオでの運転士体験会／カーフリーデーでのバス運転士説明会／運転士紹介制度／大型2種免許取得費用全額負担／テレビCM／SNS動画広告／広報誌「ほくてつニュース」で求人特集／社長、運転士のラジオ出演／社長、管理職による運転士募集チラシ配布／中学生向け「おしごと本」発行参画／デジタルサイネージでの情報発信／バス座席前を活用した情報発信／運転士募集ラッピングバスの運行／バス前面にバスマスク掲出／転職支援金制度／バス運転士採用パンフレットの作成

(2) 労働条件の改善

給与ベースアップ／定年65歳引き上げ／再雇用年齢70歳に延長／新たな雇用制度（契約）や新たな勤務形態の新設／運転士のサングラス着用と脱帽許可／運転士専用のトイレ新設／カスタム基本方針の策定

(3) 組織の強化

人財開発担当の新設／北鉄奥能登バスと北鉄能登バスの合併／北鉄金沢バスの吸収合併（4/1）

2 「はくさんジオジャーニー」キャンペーンについて

北陸鉄道グループは、石川線「白山ジオパークライン」の利用促進および白山手取川ジオパークの観光興隆を目的とした観光キャンペーン「HAKUSAN GEO JOURNEY(はくさんジオジャーニー)キャンペーン」を実施します。

(1)目的

- ①石川線「白山ジオパークライン」の利用促進
- ②白山手取川ジオパークの観光興隆
- ③金沢中心部のオーバーツーリズム対策

(2)期間

令和8年4月1日(水)から

(3)内容

金沢から石川線「白山ジオパークライン」を利用した「選べる6つの旅スタイル」のご提案



①

定期観光バス

「白山めぐり」

②

路線バス

「白山ジオぐるパス」

③

自転車

「白山ジオぐるパス」

④

徒歩

「まちあるき」

⑤

バスツアー

「あすなろツアー」

⑥

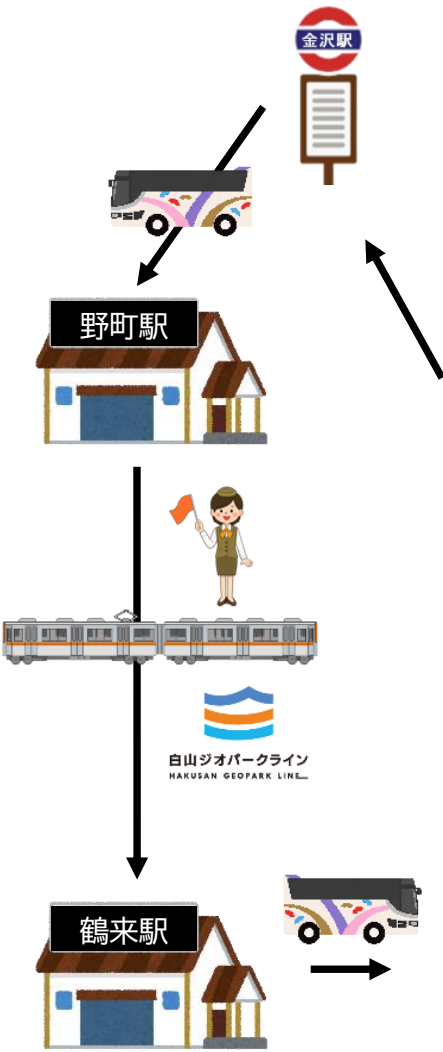
貸切バス

「オーダーメイド」

①定期観光バス「白山手取川ジオパーク号」土日祝運行 通常コース6,000円

2,000円分のお買い物クーポン付き

- バスガイドとともに、石川線「白山ジオパークライン」に乗車。
- 地質・地形、生態系、歴史・文化・産業が体感できる。



【白峰】
白山ろくを代表する歴史ある集落。日本屈指の豪雪地帯において、独自の建築様式が残る地区で、重要伝統的建造物群保存地区。



【百万貫の岩】
1934年の手取川大洪水で流れ着いたとされる巨大な一枚岩(約480トン)。



【白山ろく民俗資料館】
白山ろくの豪雪地帯ならではの生活道具や民具、山村の歴史資料などを展示し、かつての人々の知恵や営みを今に伝えている。



【白山比咩神社】
加賀国一宮。全国に2,000社以上ある白山神社の総本社。

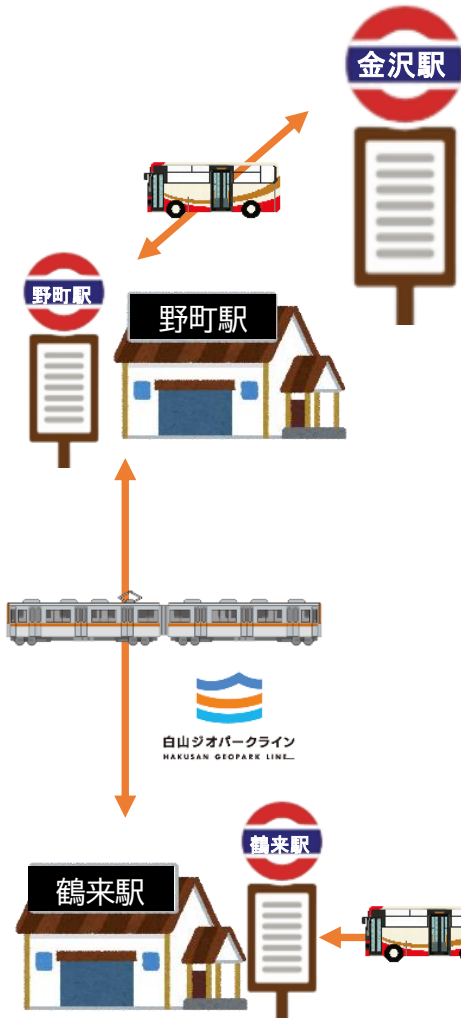


【浅野太鼓楽器店】
1650年創業、白山市の老舗和太鼓メーカー。迫力ある和太鼓文化が体感できる。



【黄門橋・不老橋】～車窓～
切り立つ渓谷美と清流、遠くに望む白山の景色が広がり、四季折々の自然を満喫できる。

②白山ジオぐるパス(路線バス版) 土日祝限定・デジタル周遊きっぷ



お得です！

- 金沢～白山ろく間の電車・バスが1日乗り放題**2,800円**。
- 指定の店舗・施設で使える特典付き。

<主なバス停と主な見どころ>



3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-1 令和7年度 鉄道線輸送人員実績（2月末まで）

券 種 名			石 川 線	浅野川線
定 期	通 勤	人 数 前年比	210,195人 104.2%	362,817人 99.2%
	通 学	人 数 前年比	378,304人 105.2%	462,096人 99.5%
定 期 計		人 数 前年比	588,499人 104.9%	824,913人 99.4%
定 期 外	回 数 券	人 数 前年比	95,566人 99.2%	183,665人 98.8%
	普 通 券	人 数 前年比	358,927人 102.4%	524,500人 100.9%
定 期 外 計		人 数 前年比	454,493人 101.7%	708,165人 100.4%
総 合 計		人 数 前年比	1,042,992人 103.5%	1,533,078人 99.8%

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

☆別途資料あり

項目	進捗状況
①重軌条化	石川線井口～道法寺駅間レール重軌条化(1月竣工)
②道床交換	石川線西泉～野町駅間道床交換(2月末竣工)
③変電所更新 ☆	額住宅前駅に新変電所新設 ⇒ 令和8年度へ繰越し
④電車線等更新	日御子～鶴来駅間電車線更新(1月竣工)
⑤電柱更新	新西金沢駅構内及び額住宅前駅構内の電柱改良(2月末竣工)
⑥踏切無警報対策	四十万踏切、西泉3号踏切(2月末竣工)
⑦信号保安設備更新	道法寺～鶴来駅間10踏切における列車検知装置の更新(2月末竣工)
⑧停車場整備 ☆	自転車用斜路整備、野々市工大前駅改修基本構想設計 新西金沢駅旅客動線改良工事(全件2月竣工)
⑨ホーム上屋塗装等 ☆	割出駅ホーム上屋取替、照明LED化工事(9月竣工) 西泉駅ホーム上屋改良に伴う待合室撤去工事(2月竣工)
⑩大野川橋梁補修 ☆	橋桁、橋脚健全性調査及びモニタリング装置設置工事(2月竣工)
⑪キャッシュレス決済 ☆	3月15日より共用開始
⑫内灘検車区改修	洗車機能向上に向けた測量、詳細設計実施(2月竣工)

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

③額住宅前変電所新設

新変電所建屋検討、及び変電機器選定や配置検討に時間を要したことで、今年度中の竣工が困難となったため、新変電所新設の工期を来年度末まで延長したい

現在、来年度中の竣工を目指し額住宅前駅舎の解体工事を進めている



新変電所建設に伴い解体された額住宅前駅舎

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

⑧ 停車場整備

令和7年度の停車場整備として、全駅への自転車持込み用斜路の整備、新西金沢駅の出入口改良工事（入出場旅客の輻輳改善）を実施

来年度の野々市工大前駅改良に向けた基本構想設計を実施（詳細は来年度整備内容として報告）



新西金沢駅
出入口通路改修前



出入口通路改修後



3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

⑨ホーム上屋塗装等

令和7年度のホーム上屋塗装として、割出駅の上屋取替・照明LED化のほか、西泉駅上屋改良の事前準備としてホーム待合室の撤去工事を行った
引続き令和8年度にホーム・上屋改良を実施する



ホーム、上屋改良の準備工事として解体された待合室

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

⑩大野川橋梁補修 モニタリング装置設置工事

令和7年度は、大野川橋梁の橋脚、橋桁の健全性診断、橋桁補強に向けた調査、及び橋脚の傾斜や河川水位を常時監視するモニタリング装置工事を実施

大野川橋梁 機器設置位置および完了写真



3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-2 令和7年度整備事業

⑪キャッシュレス(タッチ)決済システム導入

北陸鉄道線において、北陸鉄道のハウスカードであるICaとタッチ決済対応のクレジットカードによるキャッシュレス決済に必要なハード・ソフトの整備を行い、3月15日より鉄道全線で運用を開始した



無人駅設置
入出場用端末



有人駅設置
入出場用端末
乗降人員に応じ複数通路分設置

【例】北鉄金沢駅では入場2通路、出場3通路



車載設置
出場専用端末
(ICa積み増し機能付き)

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-3 利便向上策

駅カルテ掲出
 二次交通(最寄りバス停)や公的施設、観光資源等の駅勢圏情報を取りまとめた駅カルテ(駅周辺マップ)を作成、3月28日より掲出
 石川線の鶴来・井口・乙丸・額住宅前・野々市工大前・押野・新西金沢・西泉・野町の各駅に掲出

新西金沢駅にデジタルサイネージ設置
 新西金沢駅に列車発車時刻を表示するデジタルサイネージを設置(日本語・英語)
 列車に遅延や運休が発生した際には、速やかに情報表示できる仕組みとし異常時案内の強化を図った



新西金沢駅設置
2カ国語対応デジタルサイネージ



野々市工大前駅



鶴来駅

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-4 令和8年度整備事業

☆別途資料あり

項目	計画内容
①重軌条化	石川線井口～小柳駅間レール重軌条化
②道床交換	石川線西泉～新西金沢駅間道床交換
③変電所更新 ☆	額住宅前駅到新変電所新設
④電柱更新	額住宅前駅構内の電柱改良
⑤踏切無警報対策	大河端1号踏切
⑥停車場整備 ☆	野々市工大前駅、鶴来駅改修工事
⑦ホーム上屋塗装等	西泉駅ホーム上屋取替、ホーム待合室設置工事
⑧内灘検車区改修	洗車機能向上に向けた排水設備整備
⑨大野川橋梁補修	橋桁、橋脚補強工事
⑩車両更新	石川線新造車両設計(令和9年度以降導入予定)
⑪除雪車 ☆	石川線除雪車両更新、浅野川線軌陸除雪車導入

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-4 令和8年度整備事業

③額住宅前変電所新設

新変電所の建設、変電機器設置、内外線接続工事を下記スケジュールの通り進め、令和9年1月の社内、及び運輸局検査を経て、令和9年1月末に新変電所の使用開始を目指す

新変電所工事スケジュール

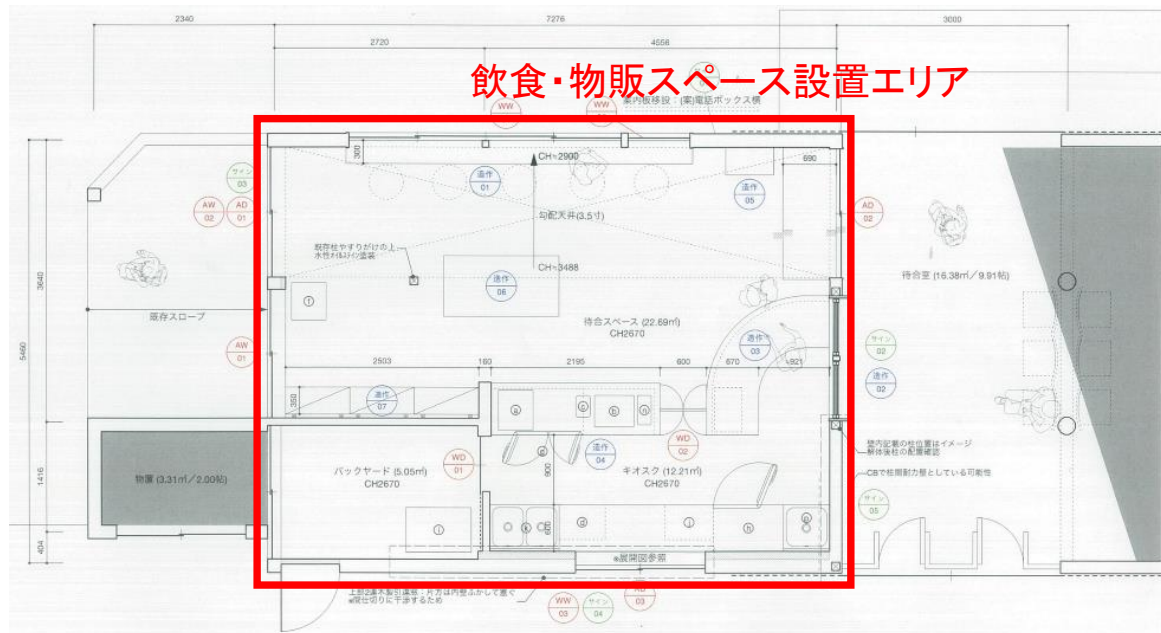
項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
新建屋建設	[Red bar]		10月変電所引き渡し	
変電機器等設置工事	[Red bar]		▲ 変電機器搬入	
検査関係				★ 社内検査 ★ 局検検査
変電所使用開始				★ 1月末切り替え
旧変電所機器撤去工事				[Red bar]

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

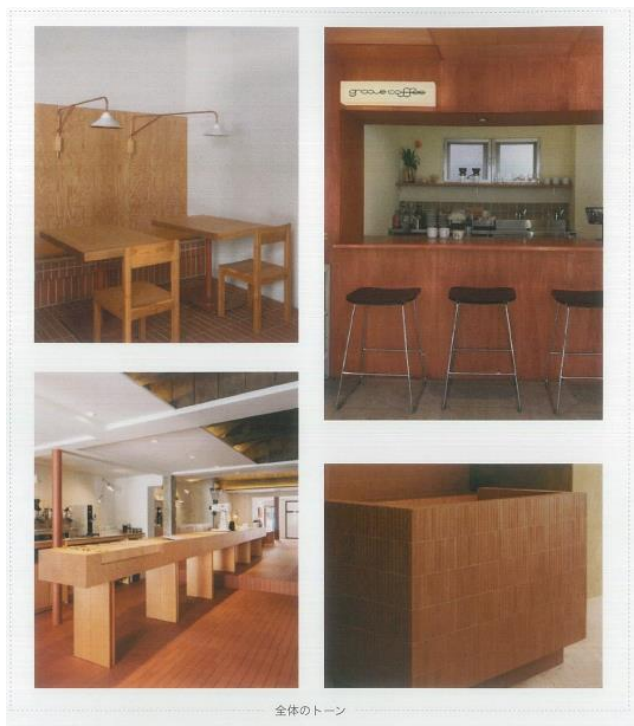
3-4 令和8年度整備事業

⑥ 停車場整備(鶴来駅)

鶴来駅の空きスペースに鉄道遺構展示及び飲食・物販スペースを設置
「まちの”いいもの・ひと”に出会える、まちを知る・再発見できる、まちのひとがチャレンジできる、電車のまちが楽しくなる」をコンセプトに地元参加型とし、地元と連携した賑わい創出を目指す



飲食・物販スペースのレイアウト案



駅の雰囲気に合わせて店内トーン

3 鉄道事業再構築事業の実績と今後の予定について

3-4 令和8年度整備事業

⑪ 除雪車

老朽化が著しい石川線除雪車(ED201)の代替としてディーゼル除雪車を導入、引続き積雪時における列車の安全・安定輸送に努めていく

浅野川線には現在除雪車がなく、夜間の積雪対応として終夜旅客用車両を走行させたり、内灘駅構内は手作業で除雪したりして安全・安定輸送に努めているが負担が大きいため、新たに軌陸除雪車を導入し負担軽減と臨機に除雪できる体制を構築する

HTR600R HTR600RS

(新幹線用)



600PS級

600PS級エンジンを搭載し、余裕の除雪能力と抜群の操作性・走行性を兼ね備えたロータリ除雪車両です。



ディーゼルエンジン除雪車(石川線用)

KBR108R -100PS級-

歩道用除雪車KBR108に軌道用ガイド輪を装備し、軌道の走行、軌陸における除雪作業を可能にしています。ロータリ除雪装置、後部翼、ブラウ装置、連結器等、各種アタッチメントの装着が可能となっています。



軌陸除雪車(浅野川線用)

4 石川線新造車両デザイン案について

石川線新造車両形状及びカラーリング

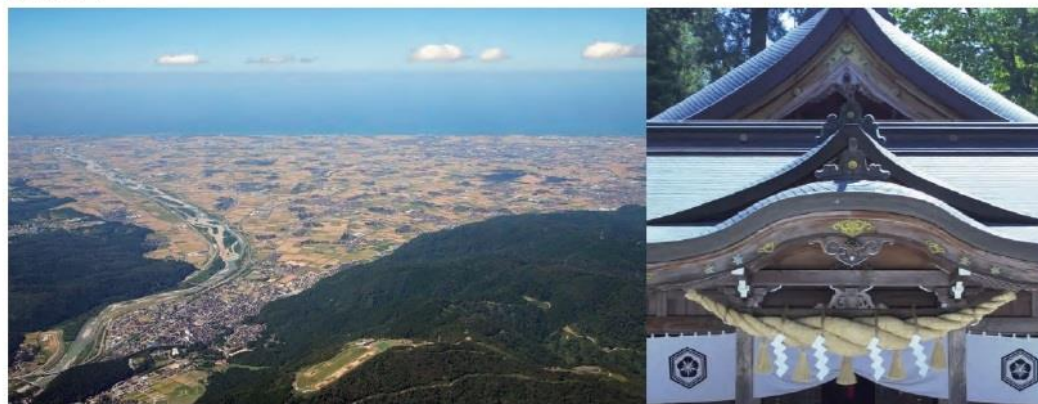
新造車両の形状は、前面を白山比咩神社や白山手取川ジオパークの扇状地を思わせるシルエット、側面は加賀百万石の米俵を想起させるスタイルとし、カラーリングについて次ページ以降に示す3案を作成した

前面形状詳細

※前照灯は省略

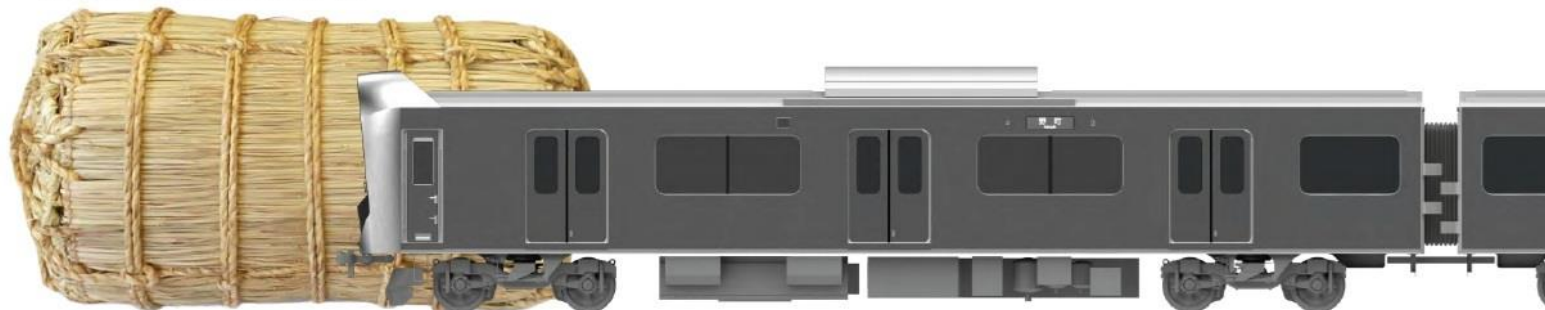
正面形状

白山比咩神社や、白山手取川ジオパークの扇状地を思わせるシルエット



側面形状

加賀百万石の米俵を想起させるスタイル



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 1



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 1 詳細



米俵の俵縄を思わせる
縦方向のスリットライン



前面にもジオパークラインロゴ



開閉頻度の少ない真ん中のドアには
ジオパークロゴをワンポイントで

加賀五彩 + 北鉄オレンジのカラーバリエーション



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 2



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 2 詳細

白山連峰、雪、手取川、日本海を抽象的に表現した



白山連峰や日本海を思わせる横方向のスリットライン



加賀五彩 + 北鉄オレンジのカラーバリエーション



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 3



4 石川線新造車両デザイン案について

カラーバリエーション 3 詳細

獅子吼高原には全国から収集した獅子頭が集う。力強さと勢いを表現した



4 石川線新造車両デザイン案について

石川線新造車両カラーリング決定方法

外観デザインについては、車体前面及び側面の配色を変えた3種類のイメージを候補とし、一般投票により決定したい

実施事項	2026年4月	5月	6月	7月
デザイン公表	★			
一般投票	→			
投票集計			→	★
結果発表				★

投票開始 (2026年4月)

投票終了 (2026年5月)

集計作業 (2026年6月)

公表 (2026年7月上旬)

投票期間

2026年4月1日～5月31日を予定

結果発表

2026年7月上旬を予定

投票方法

- ①北陸鉄道ホームページに設ける投票フォーム
- ②有人駅にて紙投票